


山 行 報 告 書

山行報告者：加藤

山 域・山 名：北 岳 (3193m)		(山梨県)
入山日又は期間：平成30年7月23日(月)～24(火) (1泊2日)		
プラン担当者：加藤		
参 加 者	加藤 計 1 名	
天候：両日共に快晴		
7月23日 (月)	南浦和駅発5:10(武蔵野線・中央本線)～甲府駅着8:09、 甲府駅発9:05(バス)～広河原着10:58、 広河原～白根御池小屋分岐を経て白根御池小屋に到着13:40、テント泊	
7月24日 (火)	起床2:00(テント撤収、ザックは小屋にデポ、サブザックで行動)、 テント場出発3:15～草すべりから両俣小屋分岐を経て北岳山頂着6:10、 山頂から下山開始6:30～右俣コースで白根御池小屋着9:00、 小屋出発9:30～広河原着11:30、乗り合いタクシーにて甲府駅へ、銭湯、 甲府駅から特急に乗車14:25 帰路につく	
装 備 と 食 糧	装 備：テント一式、シュラフ、シュラフカバー、マット、コッヘル、コンロ、 カートリッジ、雨具、ヘッドライト、地図、コンパス、防寒具、 サブザック、食料、水、行動食、衛生用具、サングラス、ストック	
	個 人 食：23日(朝昼夕)、 24日(朝昼)計5食分+非常食+行動食	

両日とも好天に恵まれた。初日は昼近くからのスタートでとにかく暑く、両側から吹き上げてくる沢風がなければ熱中症まっしぐらの苦しい登りだった。御池小屋で大樺沢の状況を聞くと、先日の大雨の影響で登山道がなくなり、二俣ではなんとか仮復旧までこぎつけたが、八本歯までの左俣のコースは特に下山では使わないほうが安全、アイゼン無しならなおさら、とのこと。

また、翌朝はヘリの荷揚げがあるから、テントはたたんで行くよう言われ、翌24日は2時に起床、テント一式全て大ザックに詰めて言われた場所に置かせて頂き、サブザックで3時にテント場出発。夜明け前の漆黒の闇の中を、星明りとヘッドライトだけで登っていくのは正直怖かった。熊も闇も空耳で聞こえる足音も怖かった。

こんなに日の出を待ちわびながら登ったことはなかったと思う。もちろん前後に登山者などいなかった。やがて4時を過ぎたあたりから、向こうの山並みの稜線が紫や青や黄色に染まり始めると、もう祈りに近い安堵感を感じた。

山頂は人もまばらで、朝焼けの中で静謐な時間を味わった。影絵のような富士山が遠くからこちらを見ていた。下る最中から続々と登山者が列をなして登ってきたので、ほとんど駆け降りるように一気に御池小屋まで下った。

7時を回るころにはすでに太陽が噛みついてくるように熱かったが、初めて目にする花々に身も心も持っていかれどおしだった。

小屋で荷物をまとめ、従業員さんに勧められるままにソフトクリームを買って夢中でほおばり、そこからまた一気に広河原まで。

途中から膝が笑い始め、暑さと疲れと満足感でこちらも笑い出しそうになる。初めての単独のアルプスだったが、他の登山者も言っていたが今年は特に暑い、と。涼しく感じたのは、夜明け前後から山頂往復のわずかな時間だけだった。

長くて暑い登りが延々続き辛かったが、それでも、北岳は秀麗で荘厳な山だったと思う。水の豊かさ、光の豊かさ、動植物の躍動感に圧倒された。

今回の山行で出会い言葉や笑顔を交わした全ての人たちに、心から感謝したいと思う。.....以上